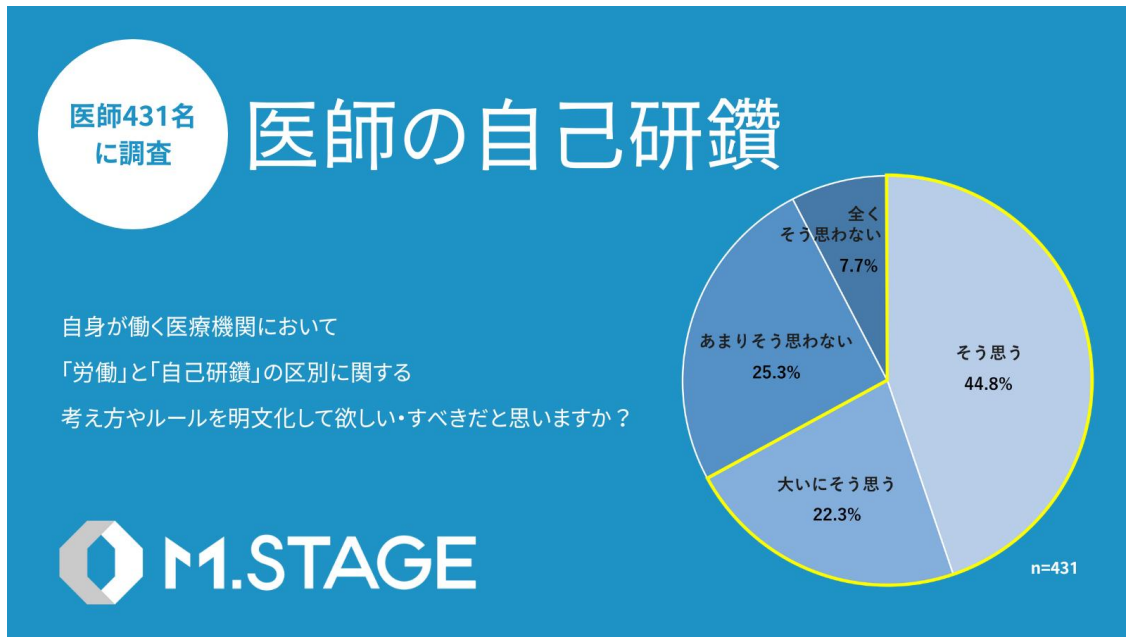


【医師 431 名に「自己研鑽」に関するアンケートを実施】 約 7 割の医師が「自己研鑽」の定義を認識していない 「労働」との区別 67.1%が明文化を希望

事業場向け産業保健支援、医療人材総合サービスを提供する株式会社エムステージ（東京都品川区、代表取締役：杉田雄二）は、エムステージが運営する『Dr.転職ナビ』『Dr.アルナビ』の登録医師のうち 431 名に「自己研鑽」に関するアンケート調査を実施しました。



調査背景

施行の日が来月に迫る「医師の働き方改革」では、長時間労働の改善を目的に、時間外労働の上限が規制されます。医師は、勤務時間内の診療のほか、日々、新しい治療法の学習や論文作成など「自己研鑽」に取り組んでおり、これが長時間労働の原因として挙げられることは少なくありません。厚生労働省は、大学病院に勤務する医師について、教育や研究に関わる研鑽や、これらに不可欠な準備を労働時間に含めるよう明示するなど、「自己研鑽」に関する動きや、注目度は高まりを見せています。このような状況のなか、当事者となる医師たちは「自己研鑽」についてどのような考えをもっているのでしょうか。現在の自己研鑽への取り組み状況や自己研鑽の認識について調査しました。

調査結果のサマリー

- 自己研鑽の取り組み状況について
 - ・ 全年代で半数以上が自己研鑽に「取り組んでいる」
 - ・ 自己研鑽と捉えることのトップは「新しい治療法や新薬に関する勉強」
- 「労働」と「自己研鑽」の区別について
 - ・ 約 7 割が「自己研鑽」の定義を認識していない
 - ・ 「労働」との区別、67.1%が明文化を希望

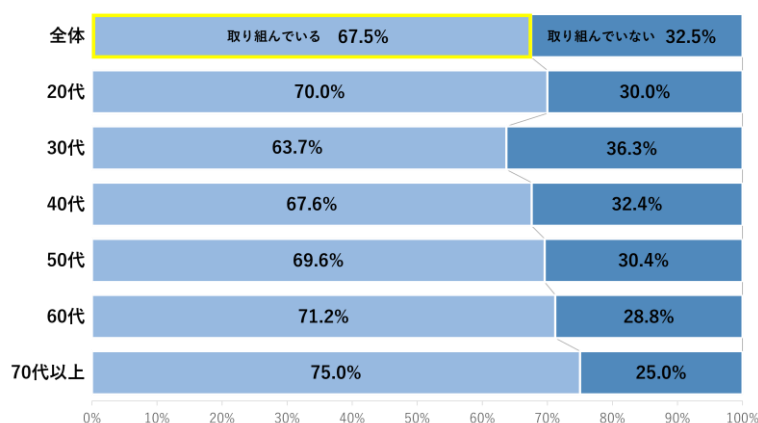
自己研鑽の取り組み状況について

1. 全年代で半数以上が自己研鑽に「取り組んでいる」

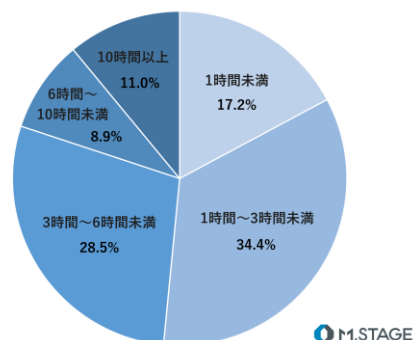
自己研鑽に関して、67.5%の医師が「取り組んでいる」という結果となりました。年代別でみると20代で70.0%、30代で63.7%、40代で67.6%、50代で69.6%、60代で71.2%、70代以上で75.0%となり、全年代で半数以上の医師が自己研鑽に「取り組んでいる」結果となりました。

また、1週間のうち「自己研鑽」に費やす時間に関しては、「1時間～3時間未満」と回答した医師が最も多く、34.4%に上る結果となりました。また、「10時間以上」と回答する医師は11.0%となり、1週間のうちに10時間以上もの時間を自己研鑽に費やしている医師が一定数いる結果となりました。

Q. 現在「自己研鑽」に取り組んでいますか？（回答数431）



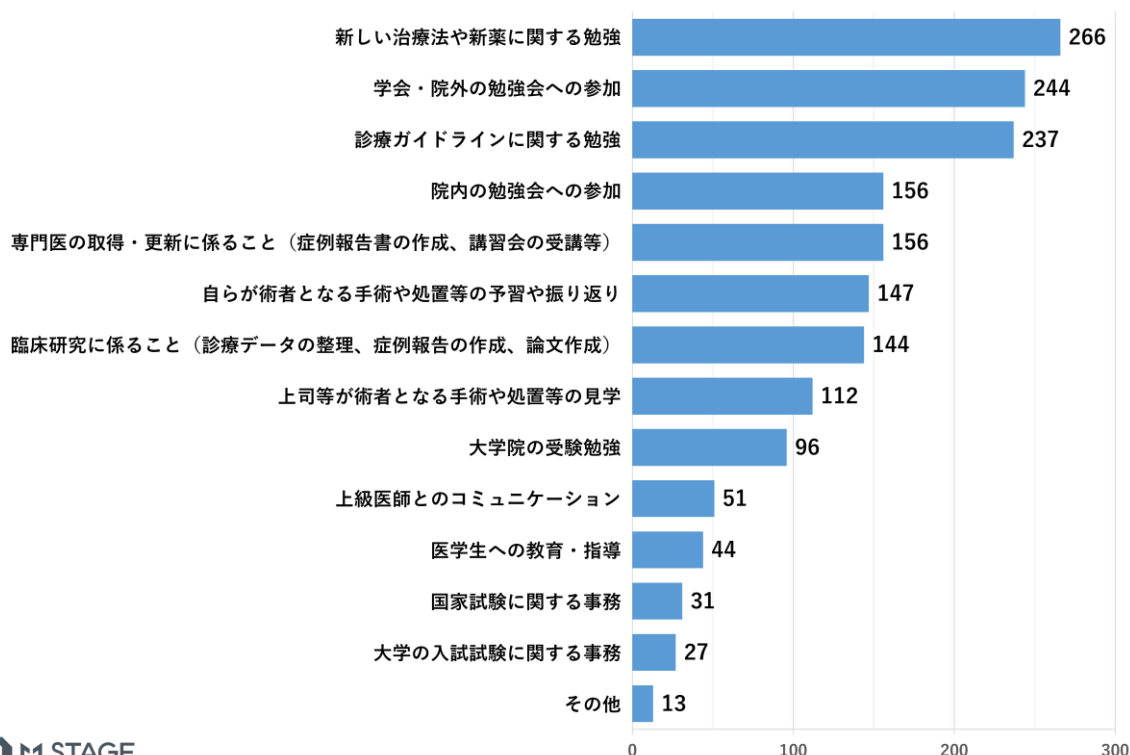
Q. 1週間あたり、どのくらいの時間を「自己研鑽」のために使っていますか？（回答数291）
※現在自己研鑽に「取り組んでいる」と回答した方のみ



2. 自己研鑽と捉えることのトップは「新しい治療法や新薬に関する勉強」

実際に自己研鑽として取り組んでいる内容に関して、「新しい治療法や新薬に関する勉強」（266）が最も多く、次いで「学会・院外の勉強会への参加」（244）、「診療ガイドラインに関する勉強」（237）が続く結果となりました。

Q. 「自己研鑽」として自身が捉えている内容について、当てはまるものを教えてください（回答数431）



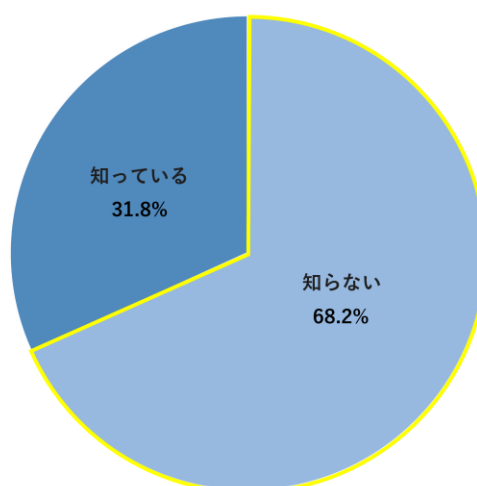
「労働」と「自己研鑽」の区別について

厚生労働省が公表する「医師の研鑽と労働時間に関する考え方について」では、【労働から離れることが保障されている状態で行われている】【就業規則上の制裁等の不利益取扱いによる実施の強制がないなど、自由な意思に基づき実施されているなど、使用者から明示又は黙示の指示がない】という2つの基準を満たす場合、労働時間に該当しないと記載されています。つまり、所定労働時間外で行われ自分の意思ですぐに終了することができる、かつ、上司からの指揮命令下に置かれたものでない場合には「自己研鑽」として取り扱われることになります。

3. 約7割が「自己研鑽」の定義を認識していない

厚生労働省が示す「労働」と「自己研鑽」の定義に関して、「知っている」と回答した医師は31.8%に留まり、68.2%の医師が「知らない」と回答しました。

Q. 厚生労働省が示す「労働」と「自己研鑽」の定義を知っていますか？（回答数431）

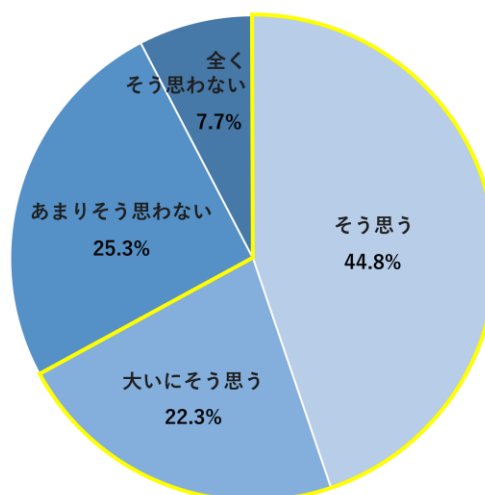


M.STAGE

4. 「労働」との区別、67.1%が明文化を希望

「労働」と「自己研鑽」の区別に関して、44.8%の医師が考え方やルールを明文化して欲しい・すべきという考えに「そう思う」、22.3%が「大いにそう思う」と回答。67.1%の医師が明文化を希望する結果となりました。

Q. 自身が働く医療機関において「労働」と「自己研鑽」の区別に関する考え方やルールを明文化して欲しい・すべきだと思いますか？（回答数431）



M.STAGE

■ 「労働」と「自己研鑽」の区別の明文化を希望する理由（フリーコメント）

- ・曖昧にしておく判断がつかず、労働側が不利になる可能性が高い。[30代/小児科/勤務医（民間病院）]
- ・自己研鑽の定義が曖昧。[30代/小児科/勤務医（民間病院）]
- ・賃金に影響があるため。[30代/整形外科/勤務医（非常勤のみ、フリーランス）]
- ・明文化した方が分かりやすいから。[60代/一般内科/開業医]
- ・労働基準法に準じたものを明記してほしい。[20代/皮膚科/勤務医（民間病院）]
- ・内科系の医師の世界では、業務と自己研鑽の線引きが難し過ぎる。明文化した方が理解しやすく、医師間の認識の差異を少なくできるから。[50代/美容皮膚科/勤務医（診療所・クリニック）]
- ・明文化しないと労働時間が正確にわからないから。[40代/精神科/勤務医（民間病院）]

■ 「労働」と「自己研鑽」の区別は不要とする理由（フリーコメント）

- ・明文化してもそれが結局は機能しないため、期待しなくなっている。
[30代/一般内科（訪問診療）/勤務医（診療所・クリニック）]
- ・自己研鑽は自発的なものであるべきなので、明文化することで自発的というニュアンスが薄くなる懸念がある。
[40代/泌尿器科/勤務医（診療所・クリニック）]

アンケート調査概要

- ・「自己研鑽」に関するアンケート
- ・調査対象：株式会社エムステージが運営する『Dr.転職ナビ』『Dr.アルナビ』に登録する会員医師
- ・調査日：2024年2月6日～2月13日
- ・調査方法：webアンケート
- ・有効回答数：431

※引用・転載時には「株式会社エムステージ」とクレジットを明記下さい。

医師求人サイト『Dr.転職ナビ』『Dr.アルナビ』について

3万人以上の医師が登録する、医師向け転職求人サイト、アルバイト求人サイトです。多様な働き方を推進し、医師不足・医療従事者の過重労働などの課題解決をめざしています。

医師の転職情報サイト
Dr.転職ナビ 医師のアルバイト情報サイト
Dr.アルナビ

『Dr.転職ナビ』：<https://tenshoku.doctor-navi.jp/> 『Dr.アルナビ』：<https://arbeit.doctor-navi.jp/sh>

★転職お役立ちコンテンツ公開中！医師へのアンケート調査を毎月実施しています。

株式会社エムステージ

「すべては、持続可能な医療の未来をつくるために」をビジョンに、医療従事者のキャリア支援・医療機関向け採用支援と事業場向け産業保健サービスを提供しています。

<会社概要>

商号：株式会社エムステージ <https://www.mstage-corp.jp/>

代表者：代表取締役 杉田 雄二

設立：2003年5月

所在地：〒141-6005 東京都品川区大崎 2-1-1 Think Park Tower5 階

事業内容：医療人材総合サービス、事業場向け産業保健支援

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エムステージホールディングス ブランド戦略室 コーポレート広報（TEL：03-6867-1170 MAIL：pr@mstage-corp.jp）